第四次　令和6年度 ― 令和9年度

草加市教育振興基本計画

笑顔かがやく草加教育プラン

草加市教育委員会

第４章

草加の教育の目指す姿

２　基本理念と基本目標

基本理念の実現のため、子ども教育、生涯学習、人権教育を基本構成として設定し、それぞれに基本目標を定めて一体的に取り組みます。

基本構成Ⅰ　子ども教育　「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる草加っ子の育成」

学校・家庭・地域の連携・協働の下、次代を担う子どもたちの自己肯定感✪・自己有用感✪・他者理解✪を高め、生きる力✪を育むとともに、知・徳・体のバランスのとれた目指す「草加っ子」✪の育成を図ります。

基本目標１　一人ひとりを大切にする幼保小中を一貫した教育の推進

子どもたち一人ひとりのよさや可能性、それぞれの育ちや成長に目を向けた支援を行えるよう、０歳から１５歳までの育ちを見通したカリキュラムの編成などを通して、幼保小中を一貫した教育✪に取り組みます。子どもたち一人ひとりがかけがえのない存在であるという基本に立ち、幼保小中のつながりや、知・徳・体に係る全ての教育活動を通して、自己肯定感✪や自己有用感✪を高めるとともに、他の人のよさを認めることができるよう子ども教育の充実を図ります。

乳幼児期の教育・保育については、発達段階や教育・保育の実施時期に応じた、遊びを通しての総合的な指導の充実を図り、生きる力✪の基礎を育てます。

学校教育については、幼児教育の成果を小学校以降の学びにいかす系統性にも留意し、児童生徒の基礎・基本の徹底を図るとともに、知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養を支援するため、個別最適な学びや協働的な学びを一体的に充実させるとともに、主体的・対話的で深い学び✪を推進し、誰一人取り残すことのない、一人ひとりの可能性が引き出される教育の実現を目指します。併せて、持続可能な社会の創り手となることを見据え、「自分の考えを持つ」「伝える」「コミュニケーションを行う」「他者と協力する」能力態度の育成を重視するとともに学習活動の充実を図ります。また、児童生徒の「知る」「調べる」「学ぶ」好奇心に応えるため、児童生徒が読書に親しむ環境の充実を図ります。

道徳教育や体験活動、環境教育、音楽教育、読書活動等を通じて、命の大切さや主体的に正しく判断し行動する力を育むとともに、感動、思いやり、協調性などを持った心豊かな児童生徒の育成を目指します。また、いじめや不登校などの学校生活の諸問題に対して、誰でも気軽に相談できる相談体制の充実を図ります。

心身ともに健康で活力のある生活が営めるよう、運動に親しみ、規則正しい生活を送る児童生徒を育成します。また、健やかな体づくりのため、地産地消による学校給食、食育、学校保健の充実を図ります。

全ての子どもたちが、等しく教育を受けられるよう、一人ひとりのニーズに応じ、関係機関と連携した支援の充実を図ります。

一人ひとりを大切にする教育の質が高められるよう、教職員への研修等の充実を図り、指導力の向上を目指します。併せて、取り組むべき教育課題に対応した研究を推進し、市内各校へその成果と効果的な方策を広げます。

基本目標２　学校・家庭・地域の連携・協働の推進

０歳から１５歳までの全ての子どもに、これからの時代を生き抜き、持続可能な社会の創り手として未来に向かう力や地域への愛着と誇りを育むため、地域や保護者等が学校運営に参画することを通じて、学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちの成長を支える上での目標や課題を共有し、地域とともにある学校づくりを推進します。

学校・家庭・地域が、目指す「草加っ子」✪を共有し、全ての子どもたちのよさや可能性がいかされ、自己肯定感✪・自己有用感✪が高められるとともに、他の人のよさも認めることができるよう連携・協働を進めます。

子育ての悩みを解消する学習機会の提供など、子どもたちの「生きる力✪」の基礎となり、教育の出発点であり重要な役割を担っている家庭教育への支援を更に推進します。

基本目標３　教育環境の整備・充実

「草加市公共施設等総合管理計画」「草加市学校施設等長寿命化計画」等に基づき、計画的に学校教育施設の改修や長寿命化を進め、安全で安心して学習できる教育環境を整備していきます。

教材・備品の整備・充実とともに、教育の情報化に対応した学習環境の整備・充実を図り、児童生徒のコミュニケーション能力、課題解決能力、情報活用能力を育成し、情報モラルの向上を図りながら、ＩＣＴを活用した効果的な教育活動に取り組みます。

第５章

施策の展開

施策１－２　自ら学ぶ「草加っ子」の育成

施策の方向

自ら学ぶ「草加っ子」の育成に向け、学校における日々の授業を充実させます。また、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用し、自分の考えをもち、伝える力（課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等）を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性をいかし多様な人々との協働を促す教育を推進します。

幼保小中を一貫した教育✪を推進する中で、児童生徒の発達段階を考慮し、学習の基盤をつくる活動を充実させるとともに、学校・家庭・地域が目標を共有し、確かな学力✪を確実に伸ばす取組を更に進めます。また、個別最適な学びや協働的な学びを一体的に充実させるとともに、主体的・対話的で深い学び✪を推進し、誰一人取り残すことのない教育の実現を目指します。

教員がＩＣＴを効果的に活用し、教科等の指導の工夫・改善を進めるとともに児童生徒の情報活用能力の育成を推進します。また、児童生徒の発達段階に応じたコミュニケーション能力、課題解決能力、情報活用能力を育成するとともに、情報モラルの向上を図ります。

授業を行う教師と全小中学校に配置しているＡＬＴ✪の役割を明確にし、実践的な英語力（英語をコミュニケーション手段として使う力）を身に付けられる授業を展開することで、児童生徒が言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、グローバル化に対応した児童生徒を育成します。

学校図書館教育については、草加市子ども読書活動推進計画に基づき、読書活動の推進等を積極的に行います。

主な取組

◆「草加っ子の基礎・基本」の定着

「知・徳・体」のバランスのとれた取組を推進し、「草加っ子の基礎・基本✪」のより一層の定着を図ります。

「指導の基✪」を活用して、「知」の基礎・基本について理解を深め、学ぶ意欲を向上させるとともに、基礎的・基本的内容を確実に身に付けさせます。また、「自分の考えを持つ」、「伝える」ということを重視し、学力向上につなげます。

◆各種学力調査の実施と分析・活用

児童生徒の学力や学習状況を把握・分析・検証し、その改善を図るとともに、指導の充実や学習状況の改善に役立てるための全国学力・学習状況調査✪、児童生徒一人ひとりの学力の伸びを把握でき、その指導の在り方にいかすための埼玉県学力・学習状況調査✪、当該年度に身に付けるべき学習内容の定着を把握し、確実に身に付けるための草加市学力・学習状況調査等をそれぞれ実施し、授業改善

施策３－２　学習環境の整備・充実

施策の方向

学習指導要領を踏まえ、児童生徒が学習内容を確実に身に付けられるよう、必要な教材教具の整備を進めます。特に、ＩＣＴ支援員や一人一台のタブレット端末、大型提示装置、デジタル教科書等を効果的に活用し、学習活動の充実を図ります。また、学校図書館の蔵書及び環境も充実させます。

特色ある学校経営の推進に向け、各校の教育目標の達成を目指し、積極的な活動ができるように教育環境や学習環境の整備を行い、各校の主体的な取組を支援します。

主な取組

◆ＩＣＴの整備と活用

「主体的・対話的で深い学び✪」を推進するためにＩＣＴ✪を効果的に活用した授業を展開します。タブレットを使って意見の交流をしたり、タブレットで資料を提示しながら個別指導を行ったりするなど授業において多様な活動で活用していきます。また、プログラミング教育✪を推進し、プログラミング的思考を身に付けさせるとともに、授業の工夫改善を通して、児童生徒の情報活用能力の向上を図ります。ＩＣＴ支援員を配置し、その活用の充実を図ります。また、ＩＣＴ研修を充実させ、授業で効果的に活用できるよう教員の指導力の向上を図ります。

◆教材教具の整備

授業を充実させるために、教材教具の整備を充実させます。そして、より深い教材研究を行いながら児童生徒の学習環境を整え、日々の授業を工夫改善し、児童生徒の学力向上を図ります。

◆学校図書館教育の充実（再掲）　＊元は１－２に掲載

草加市子ども読書活動推進計画に基づき、児童生徒の読書に対する関心を高め、読書活動を推進します。また、学校図書館の蔵書内容や老朽化した図書の更新を考慮し、国が定める学校図書館図書標準✪の充足率１００％以上を維持するとともに、設備備品の更新を図りながら、快適な学校図書館づくりに努めます。

◆特色ある学校経営を推進するための予算の充実

必要な学習環境を整備し、その主体的な取組を支援することで、各校の特色がより反映できるよう、学校配当予算の充実に努めます。

また、学校事務職員等が適正な予算執行、会計処理が行えるよう、学校事務職員等に対する研修を継続していきます。

◆ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業・環境づくりの充実（再掲）　＊元は１－６に掲載

通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒も含め、児童生徒が取り組みやすい授業を行うために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れる方策について研修会を実施します。そして、全ての児童生徒にとって分かりやすい授業となるよう授業改善を推進します。併せて、各校の実情に合わせ、ユニバーサルデザインの視点を含めた児童生徒の落ち着いた学習環境づくりを進めます。

教育×ICT